

第5プレス工場新設

伊藤製作所が 第3工場は増築 作業効率化

【津】伊藤製作所(三重県四日市市、伊藤澄夫社長、059・364・7111)は、本社近く

に5カ所目のプレス工場を建設する。第3工場を増築する。主力の自動車部品の供給力を高める。同時に、作業効率を上げるのが狙い。2013年3月に稼働する。設備費を含めた総投資額は4億8000万円

円。これにより、14年3月期売上高は12年3月期比で約17%増の31億円を目指す。

新工場は本社近くに取り得ていた敷地に建設。1階建てで床面積は750平方メートル。プレス部品加工スペースと金型置き場を設置。加工スペースに自動プレス機14台を新規導入する。自動車の電装品やシート関連部品などを加工する。部品の生産能力は品目により異なる。

ため、明らかにしている。一方、第3工場の増築は2階建てで延べ床面積620平方メートル。1階は倉庫で2階は部品の検査室。これまで、既存工場の一角で行ってきた部品の検査工程や出荷管理などを増築部に集め、作業効率を高める。

新工場は本社近くに取り得ていた敷地に建設。1階建てで床面積は750平方メートル。プレス部品加工スペースと金型置き場を設置。加工スペースに自動プレス機14台を新規導入する。自動車の電装品やシート関連部品などを加工する。部品の生産能力は品目により異なる。

ため、明らかにしている。一方、第3工場の増築は2階建てで延べ床面積620平方メートル。1階は倉庫で2階は部品の検査室。これまで、既存工場の一角で行ってきた部品の検査工程や出荷管理などを増築部に集め、作業効率を高める。

ため、明らかにしている。一方、第3工場の増築は2階建てで延べ床面積620平方メートル。1階は倉庫で2階は部品の検査室。これまで、既存工場の一角で行ってきた部品の検査工程や出荷管理などを増築部に集め、作業効率を高める。

ため、明らかにしている。一方、第3工場の増築は2階建てで延べ床面積620平方メートル。1階は倉庫で2階は部品の検査室。これまで、既存工場の一角で行ってきた部品の検査工程や出荷管理などを増築部に集め、作業効率を高める。